3 報告事項

(1)　市指定文化財の解除について　　… 報告資料 p.1

(2)　郷土資料整理業務について　　… 報告資料 p.2

報告資料

(1) 市指定文化財（金城の巨樹・銘木　山藤のクロマツ）の解除について

a 経過

・令和 6 年 3 月 26 日：
　令和 5 年度第 2 回浜田市文化財審議会に指定解除の諮問
・令和 6 年 3 月 27 日：
　浜田市文化財審議会より解除が適当である旨の答申書
・令和 6 年 4 月 25 日：
　第 226 回教育委員会定例会において解除の承認
・令和 6 年 5 月 1 日：
　指定解除の浜田市教育委員会告示

b 指定を解除した文化財について

(a) 指定を解除した文化財の名称
　　金城の巨樹・銘木　山藤のクロマツ
(b) 指定年月日　平成 5 年 3 月 31 日
(c) 所　在　地　浜田市金城町今福 111
(d) 所　有　者　個人
(e) 解 除 理 由　指定文化財としての価値を失ったため。

伐採前の状況(遠景)

切り戻し後状況(近景)

(2) 郷土資料整理業務について

市内各資料館をはじめとする市所有の歴史（古文書)、民俗、考古、美術、自然等の郷土資料について、保管・管理状況を把握して整理を行う。特に郷土資料館保管資料は、種類別に三階・雲城等の文化財保管庫に移して、台帳―保管場所―資料とを関連付けして一元化を図り、管理や活用を図る。

a 業務の概要（3か年事業）

(a) 資料の物理的整理
　保存状況の把握（欠損、重複物等の整理を含む）
(b) 資料の台帳整理（リスト化と写真撮影）
(c) 保管場所の整理（特に郷土資料館の資料を種類別に一元化）

施設名	現状	整理後
三階文化財保管庫	民具・考古等	民具を中心
有福文化財保管庫	考古・古文書等	考古を中心
雲城文化財保管庫	古文書等	古文書を中心

※郷土資料館の資料を精査し、必要に応じて各文化財保管庫に移して、館内の保管スペースを確保する。

b 各年度事業計画

年 度	業務内容	備 考
令和6年度	(a) 三階文化財保管庫資料整理 ※郷土資料館の民具、人形型、陶器等の整理と考古資料を有福文化財保管庫に移動 (b) 有福文化財保管庫資料整理 ※古文書を雲城文化財保管庫に移動 (c) 郷土資料館資料整理準備作業 ※台帳や寄附書類等と実物資料の状況把握作業等 ※1F収蔵庫、会議室から整理し、作業空間等を確保	指定管理者と調整
令和7年度	(a) 郷土資料館資料整理 ※展示室、特別収蔵庫、2F収蔵庫整理。また、民具等の一部を雲城・三階文化財保管庫に移動	指定管理者と調整
令和8年度	(a) 郷土資料館資料整理 (b) 有福文化財保管庫の考古資料や各資料館資料の確認整理（台帳や写真の補足等） (c) 整理業務の最終報告作成	指定管理者と調整

4　協議事項

(1)　文化財保存活用地域計画について　　… 協議資料 p. 1

協議資料 別紙 1

協議資料

(1) 文化財保存活用地域計画について

a 経過(前回の浜田市文化財審議会以後)

・3 月　２６ 日：令和 5 年度第 2 回浜田市文化財審議会

〈協議内容〉
1 課題・方針・措置の妥当性・連動性
2 措置に保存・活用の両方の要素があるか
3 措置の実現性
4 石見神楽について

・5 月 16・17 日: 文化庁協議(現地視察)
・6 月　２５ 日：総務文教委員会に計画案の報告
・7 月 1～31 日：パブリックコメントの実施
計画案の意見照会(文化庁担当課・市役所庁内関係部署)
→指摘事項
・8 月　１６ 日：令和 6 年度第 1 回浜田市文化財審議会

b 今後の予定

・8 月　２２ 日：[市] 教育委員会会議で計画案の承認
・8　月　中：[市] 文化庁へ計画案の提出
・9月下旬～10月上旬：[文化庁] 各類型の文化財調査官への照会→修正
・１１ 月 上 旬：[文化庁] 関係省庁に事前協議(意見照会)→修正
(関係省庁照会後は、自己都合による修正不可)
・11月下旬～12月上旬：[市] 県を経由し認定申請
(申請書・地域計画・文化財リストなど)
・１２ 月 上 旬：[文化庁] 申請書受領後、関係省庁に正式協議
・１２ 月 下 旬：[文化庁] 文化審議会文化財分科会に諮問・答申、プレス発表、認定通知(同日付け)

c 協議の視点

(a) 指摘事項への対応内容について
(b) 内容全般について

文化庁指摘事項対応表

No	主な指摘事項		
	頁	内容	対応内容
1	全体	括弧書きの補足を平文に開けるところは開くこと	該当箇所の修正
2	全体	数量を表す表現を統一すること 例)一つ⇒1つ	該当箇所の修正
3	全体	文章の簡潔化を図ること 例)「…では、」、「…としては」⇒「…は、」 「…となります。」⇒「…です。」 「…となります。」⇒「…です。」	該当箇所の修正
4	全体	正確な言い換えとすること 例)P1 自然(風土)は不適	該当箇所の修正
5	全体	並置する語の形を整えること 例)P1 「…高齢化や減少」と「…なりつつあること」は不整	該当箇所の修正 例)P1 「…高齢化や減少」と「保管の困難化」
6	全体	全ての元号に西暦を併記すること	該当箇所の修正
7	全体	「…はじめ」は一つを例示する表記なので、複数例示する部分は「…など」にすること	該当箇所の修正
8	全体	同義反復を回避すること 例)P29　「…山並みが、市街地の背景となって連なり」⇒「山並みが市街地の背景となり、」	該当箇所の修正
9	全体	適切な「て・に・を・は」を用いること	該当箇所の修正
10	全体	各データが最新版であることを確認すること 例)P17「改訂しまねレッドデータブック」 P18「環境省自然環境局生物多様性センター資料」 P20「住民基本台帳」など	提出時に最新データに更新
11	全体	施設が「立地」⇒施設が「ある」または「所在する」	該当箇所の修正
12	全体	「側」と「部」の誤用を修正すること 「側」は本体を離れた場所。「部」は本体の中の場所	該当箇所の修正
13	全体	市域全体を指す場合には、「浜田市」に統一すること	該当箇所の修正
14	全体	主述の不整を修正すること。 例)P37　1段落2行目など	該当箇所の修正
15	全体	シンプルな表現を用いること	該当箇所の修正
16	4	左端の四角に「(法第2条)」とあるが、県・市の文化財があるため、2条の範疇を超えている	図の修正
17	9	緑の基本計画の要約を正確に行うこと	記述内容の修正
18	9	「担い手や後継者不足から文化財が失われる」は意味がとれない	「担い手や後継者不足などの文化財をとりまく状況により文化財が失われる」に修正

No	主な指摘事項		
	頁	内容	対応内容
19	13	図1-4　山名が多く、文字が小さいので、見やすい地図にすること。	国土地理院地図1/20万に記載している山をプロット、見やすく改善
20	15	弥栄のグラフは示せないか	弥栄のグラフの追加
21	16	「多種多様な」⇒「多種の」に修正すること ※「多種多様」は四字熟語ではない	指摘のとおりに修正
22	24	「これら以外は」とあるが唐突。P25の説明をここにもってくる。	図版等を調整
23	26	2段落1行目　「三隅地域」⇒「三隅」※他との並び	本庁舎(市役所)との並びから、「４つの支所(金城支所、旭支所、弥栄支所、三隅支所)」に変更。
24	26	市域を5地域で扱う説明を入れること	1段落に、「浜田市は平成17年(2005)に浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町が合併し発足したことから、浜田地域・金城地域・旭地域・弥栄地域・三隅地域からなります。」を加筆
25	29	「集落ごとに固有の農山村集落があり、」は意味不明	該当部を削除
26	35	■旧石器2段落6行目「テントのような小屋で生活…」は誤解を招く	「テントのような簡単な住居で生活…」に修正
27	35	■縄文　2段落目は主語の不整	「最も古いのは、…日脚遺跡(日脚町)であり、そこからは縄文土器や…見つかっています。」に変更
28	35	■縄文　浜田の縄文時代は定住しなかったのか	5段落を「狩りや木の実などを集めて定住生活をしていた…」に変更
29	36	■古墳　4段落1行目　「古墳内部に埋葬するための」とあるが、これ以前は埋葬しなかったの？	「古墳内部に埋葬するための」を削除
30	37	■飛鳥　3段落2行目　「本堂（金堂）」⇒「金堂（本堂）」	指摘のとおりに修正
31	37	■飛鳥　6段落1行目　「豪族が力を示すため、」⇒「豪族が権力を誇示する方法が、」に修正	指摘のとおりに修正
32	37	■奈良 2段落1行目 ルビの「いかん（かみ）ごう」はわかりにくい	ルビを「いかん(いかみ)ごう」に修正
33	37	■平安　1段落1行目　「平城京から」を削除。※「平安京」の前の都は長岡京。	指摘のとおりに修正
34	38	■鎌倉　2段落1行目　「石見では」⇒「石見国では、」 ※「石見」で石見国をあらわすなら、「石見国」で統一したほうが良いように思います。	指摘のとおりに修正
35	38	■鎌倉　4段落2行目　「後半には、」は、何の後半かわかりません。	「室町時代中ごろ」に変更
36	38	■鎌倉　7段落2行目　「戦国大名・」を削除or「戦国大名の」	「戦国大名・」の削除
37	38	■鎌倉…　8段落1行目　「領主たちは」⇒「諸氏のうち福屋氏は」、「特に福屋氏は」を削除。	指摘のとおりに修正
38	39	■中世の港　1段落1行目　「船で運んで貿易をしたり、」⇒「船で運んだり、」　※「貿易」は外国との物の売り買い	指摘のとおりに修正
39	40	2段落2行目　「明治時代までの」⇒「明治維新まで」　※今の表記だと明治時代全部も亀井家の支配下	指摘のとおりに修正

No	主な指摘事項		
	頁	内容	対応内容
40	40	4段落3行目　「内容や組が変わっていきました。」⇒「組の範囲に変化がありました。」では間違いか　■浜田藩　2段落4行目にもあり	「内容や組が変わっていきました。」⇒「再編もありました。」に変更
41	40	■浜田藩　3段落2行目　「を対象に考えた」⇒「が候補となった」	指摘のとおりに修正
42	41	1行目　「参勤交代を示す行事です。」⇒「参勤交代を再現したものです。」	指摘のとおりに修正
43	42	■近代の…　○港の…1段落3行目　「にかけては、」→「まで、」 ※「にかけて」は幅のある年代ないし領域に使う語。	指摘のとおりに修正
44	42	○鉄道の…　2段落　駅は「開業」を使うことが多いです。	「開通」を「開業」に修正
45	43	○教育の…　1段落1行目　「と近代化を進め、」→「を目標に近代化を進め、」	指摘のとおりに修正
46	43	■戦後の…　3段落　日本語として不整。	3段落の削除
47	43	■社会基盤…　1段落　p42の再掲。2段落冒頭の「さらに」まで削除しては	指摘のとおりに修正
48	43	■市町村…　1段落2行目　「浜田は」→「浜田市域は」	指摘のとおりに修正
49	54	表2－2　見出し行　「類型・種別」→「文化財の類型」 ※表2－3、2－4と合わせる	指摘のとおりに修正
50	57	(3) ア　3段落2行目　「食生活」で間違いない？	「食」の削除
51	64	(2)3行目「民俗芸能を支える用具の製作技術」は「文化財の保存技術」では	修正なし。 面や衣裳は神楽舞以外にも、展示品として、贈答品として利用させるなど芸術性も高いことから、無形文化財に分類
52	64	(3)ア「顕彰碑」は美術工芸品の歴史資料か	修正なし。 顕彰碑は信仰の対象となっており、また、一部では行事が行われることから、有形の民俗文化財に分類
53	64	(4)イ2段落目1行目「町並み」は「伝統的建造物群」か	修正なし。 名称は、日本遺産の構成文化財名を利用しているため、「町並み」とあるが、伝統的な建造物群はなく、該当地は近世において景勝地として紹介されていることもあり、名勝に分類 なお、混乱を避けるため、文章を修正
54	64	(6)3段落目2行目「旭支所や歴史民俗資料館」が「伝統的建造物群」に該当するか確認すること。	「旭支所や歴史民俗資料館」は「伝統的建造物群」に該当しないため、該当箇所を削除
55	69	第1節1行目「歴史概況や文化財の概要をもとに」とあるが、初出の事柄が目立つ。後出しにならない程度に、第1章や第2章で触れておく。	初出となる軍都・食文化・先人の足跡について、第2章に記述
56	70	特性の説明は第1章の繰り返しが多いため、端的に記述すること。	端的な記述に努める

No	主な指摘事項		
	頁	内容	対応内容
57	71	2(1)2段落2行目「旧石器時代は移動があったと考えられていますが、」は説明不足	内容の修正
58	71	2(1)3段落はこの位置か。縄文時代の石器も含めてなら、わかるように記述するべき。	縄文時代の内容のため、「岩塚Ⅱ遺跡で出土した縄文時代の石器材料は…」に修正
59	72	1行目。縄文に祭祀遺物があれば書くべき。	修正なし。縄文時代の祭祀遺物は出土していないため
60	72	3　2行目「軍都」の話は、第1章にない。触れておくべきでは	第1章第4節の(5)近代の浜田の項目に加筆
61	74	4(1)の2段落5行目「このような港町の発展が」とあるが、直前にさほど港町の発展といえる話は記載されていない。	「発展」⇒「存在」に修正
62	76	2段落 明治以降の神楽の発展があるが、第1・2章に記すべき内容では	第2章に加筆
63	76	P64に「角寿司・押し寿司」はあるが、これほどの郷土料理は紹介していない。後出し感が強い。	第2章に加筆
64	77	(1)6 「先人が築き上げた土壌を守り」はよくわからない。	「先人の足跡を守り」に修正
65	78	1　1段落3行目「この実現において」⇒「その実現のため」と思う	1 目標　の修正
66	78	1　2段落1行目「したがって」の前後関係が良くわからない	同上
67	78	1　6段落『日本海と…歴史文化』は、第3章で設定しておくべき	第3章に加筆
68	81	「データベース」「台帳」「カルテ」とあるが、整理して使用しているのか。	「データベース」…デジタルによる一覧表 「台帳」…文化財の主要項目を記載した帳面(デジタル・紙) 「カルテ」…台帳と同一。文化財の変化を観察する際の呼称。
69	91	ア【課題】とイ【方針】のところで、直接、国と文化財防災センターが市と連携して事業を行うことはないはず。協力を仰ぐなどの言葉に変えるか。	「国(文化庁等)や文化財防災センターなどの関係機関の協力を仰ぐ…」に修正
70	105	1の3つ目の○「教育文化」とあるが、「教育」か	「教育」に修正
71	108	1の【ストーリー】の2行目。「この古墳は、山陰と山陽を結ぶ重要な交通路に位置することから」とあるが、それだけで「いち早く大和朝廷と関係を持つことで、大きな力を持つことができたと考えられる」と言ってもいいのか	内容を修正
72	108	【ストーリー】を諮問資料にそのまま引用できるような段落を意識して設けること	指摘のとおりに修正
73	108	構成文化財の写真を各2・3点用意すること	写真の追加
74	110	【課題】の1つ目。「アクセスを含め…把握できていない」に対応する方針・措置が不明確	「アクセスを含め…」の削除
75	112	「いわみもの」はP22あたりで紹介しないか。	P41の北前船の関連で紹介
76	116	【課題】の1つ目。「無形文化財としての伝統的な技術の把握は十分とはいえません」の部分と方針・措置の記述のバランスをとること	方針・措置に「伝統的な技術などの」の文言を加筆